

平成26年度入学試験日程

Table with columns: 区分, 募集人員, 試験科目, 出願期間, 試験日, 試験会場. Rows include 歯学部 (推薦, 一般選抜, A O, 同窓特別, 編入学) and 薬学部 (推薦, 一般選抜, A O, 編入学).

■大学案内・募集要項請求先(送料とも無料) 〒963-8611 福島県郡山市富田町字三角堂31-1 奥羽大学教務課 入試係 ☎024-932-8931(代)

平成26年度 大学院歯学研究科入学試験

Table with columns: 区分, 出願期間, 試験日, 試験科目. Rows for 二期 and 三期.

奥羽大学報139号(通算No.264)平成25年8月31日発行 発行 奥羽大学 学報編集委員会 委員長 赤川 安正

奥羽大学報



オープンキャンパス説明会

目次

夏オープンキャンパス(6月~8月)/中学生の大学訪問... 2
小中学生のための科学実験講座・薬剤師体験講座/夢ナビライブ... 3
平成25年度献体者合同慰霊式/秋のオープンキャンパス開催日/薬学部新入生早期体験学習... 4
キャリアガイダンス/薬学部自習室の開設/平成25年薬物乱用防止「ダメ。ゼッタイ。」福島普及運動郡山地区626街頭キャンペーン/交通安全講習会/第45回全日本歯科学学生総合体育大会結果... 5
歯学部父兄会地域会/第29回歯学部教員研修講演会/第30回歯学部教員研修講演会... 6
第55回奥羽大学歯学会/第28回東日本歯科麻酔学会/日本顎顔面補綴学会... 7
歯の喪失とアルツハイマー病の関係をモデル動物で赤川学長が初めて説明/大学院特別研修セミナー... 8
附属病院... 9
学校法人晴川学舎 平成24年度決算報告... 10
第22回奥羽大学公開講座/第21回奥羽祭のお知らせ/図書館企画展示... 12
人事/同窓会だより/同窓生のひろば... 13
平成26年度入学試験日程/平成26年度 大学院歯学研究科入学試験... 14

夏のオープンキャンパス(6月~8月)

6月8日(土)、7月20日(土)、8月4日(日)と、この夏3度にわたってオープンキャンパスを開催した。6月は本学卒業の先輩をお招きして、歯科医師・薬剤師の仕事について様々な角度から説明があり、7月は赤川学長による本学紹介に続いて、歯学部、薬学部でそれぞれ模擬授業などを行った。そして8月は、主に、両学部の実習を体験していただいた。回を増すごとに参加者も増え、盛況であった。



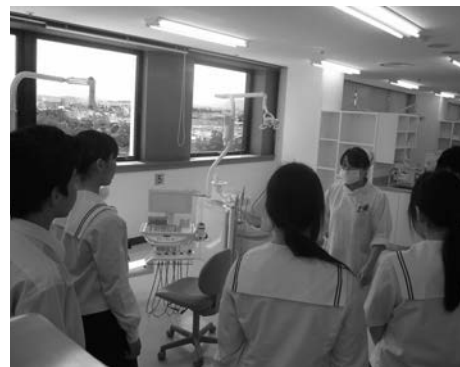
歯学部人工歯切削体験



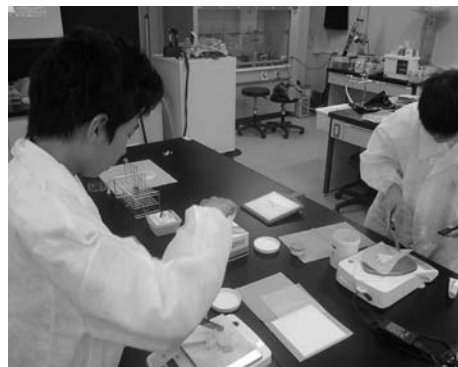
薬学部オリジナル軟膏製作体験

中学生の大学訪問

「総合的な学習の時間」の一環として郡山市内の郡山第三中学校・郡山第二中学校・三穂田中学校・明健中学校・郡山第五中学校・安積第二中学校・行健中学校、市外から三春中学校・富岡第一・富岡第二中学校・須賀川養護学校が本学へ職場体験に訪れた。生徒たちは、歯学・薬学の初歩的な体験実習を通して、歯科医師・薬剤師の魅力を実感できたようだった。



歯学部体験実習



薬学部体験実習

小中学生のための科学実験講座・薬剤師体験講座

8月8日(木)に、小中学生約30名が参加する科学実験講座・薬剤師体験講座を開催した。

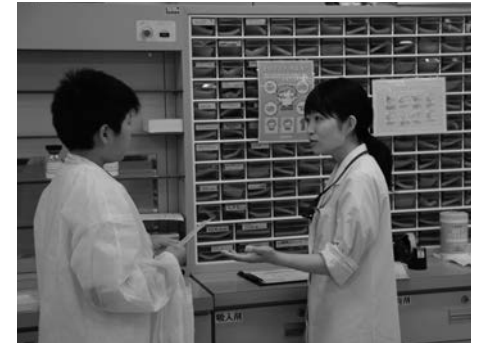
科学実験講座では、化学反応による発光実験を行い、様々な色の幻想的な光に生徒から歓声が上がった。時間一杯、親子で身近に存在する蛍光剤を利用したグッズなどを発見していた。また、KOCOラジ(郡山市内のFMコミュニティ放送局)の取材には、中学3年生の親子が楽しい状況を語っていた。

薬剤師体験講座では、薬剤師の仕事を、散剤の計量と分包、水剤の計量、錠剤の一包化、軟膏の調剤、監査の5分野に分け、模擬の処方せんをもとに調剤業務を体験した。最後は本学学生と教員の指導のもと、みんなで楽しく「服薬指導」の実演を行った。

短い時間の体験ではあったが、参加した小中学生は、真夏の太陽の輝きのようなキラキラとした眼差しで、科学や薬剤師への興味を持って受講していた。きっと、将来の夢を考える1つのきっかけになったことであろう。



科学実験講座



薬剤師体験講座

夢ナビライブ



歯学部廣瀬公治教授「歯周病と糖尿病との意外な関係」



薬学部柏木良友教授「人間のからだにやさしい薬を!」

7月13日(土)、奥羽大学は東京ビッグサイトで開催された「夢ナビライブ」に参加した。「夢ナビライブ」とは、全国各地の国公私立大学(今年度の参加は198校)教員が行う生の講義を、高校生たちが自分の興味に応じて聴講できる催しである。本学からは、歯学部廣瀬公治教授と薬学部柏木良友教授が、それぞれ「歯周病と糖尿病との意外な関係」、「人間のからだにやさしい薬を!」と題して、多数の生徒を前に講義を行った。また、本学の「進学相談」コーナーにも10名を超える生徒たちが訪れるなど、非常に有意義な企画参加であった。

平成 25 年度献体者合同慰霊式

平成 25 年度奥羽大学合同慰霊式は、6月 1 日(土)午後 1 時から郡山市片平町の霊鷲山常居寺の慰霊碑前で厳かに執り行われ、ご遺族ならびに白菊会会員、ご来賓の方々のご臨席を賜り、本学からは赤川学長はじめ学部長、教職員および第 2 学年学生全員が参列した。

式では、本学の教育研究のために献体された尊い御霊に対し、黙祷、霊札納塔の儀の後、学長、学生代表者の哀悼の意と感謝の意が述べられ、続いて参列者全員の献花が行われた。

本学は昭和 47 年開学の年に初めて献体を受け、昭和 50 年に本学内慰霊碑にて第 1 回

慰霊式を行った。平成元年に郡山市片平町の常居寺に慰霊碑を移設し、以来この地で慰霊式を行い、本年度で第 38 回の慰霊式を終了した。



秋のオープンキャンパス開催日

10月 20 日(日) 10:00~12:00
「奥羽祭を楽しもう」

10:00~12:00

個別進学相談会

10月 27 日(日) 10:00~12:00
「推薦入試に備えよう」

10:00~10:30

大学紹介・学部紹介

10:30~11:00

入試説明

11:00~12:00

面接試験対策
小論文試験対策(歯学部のみ)

12:00~13:00

学食体験・キャンパスツアー

薬学部新入生早期体験学習

6月14日(金)、20日(木)、21日(金)、27日(木)、28日(金)と、5 班に分かれ早期体験学習が実施された。本年度は医薬品流通現場で活躍する薬剤師業務を見学する目的で、市内喜久田にある恒和薬品株式会社を訪問した。現地では卸売業者の使命についての講義を受講し、広大な薬品庫の見学・説明があった。卸売業者で取り扱っている医薬品数ならびに在庫金額を聞いて、数値の大きさに皆驚いていた。

新入生たちは、この体験学習を通して、医薬品の安定供給が患者の生命維持に直結することを学び、流通現場で活躍する薬剤師の職務の重要性を認識されたようだった。



キャリアガイダンス

薬学部のキャリアガイダンスは、毎回違ったテーマを決め、5 月より 3 回の講座を実施した。就職活動の第一歩である企業分析の仕方、就職活動計画の立て方から始まり、今後大きな変革を迎えるであろう「保険薬局の事業展開と今後の展望」と題した講演など、各分野で活動している現職の薬剤師を講師に迎え実施した。11 月にはいよいよ就職活動に入る 5 年生を対象とした就職活動直前講座において、企業へのアプローチの進め方、エントリーシートの書き方、電話のかけ方、身だしなみやメイクの仕方など具体的に就職活動を行う上で参考となる事柄を中心に講演を予定している。また、全学年を対象としたキャリア支援講座では、苦手とする者が多い一般常識問題や SPI といった就職試験に対する講座も予定している。将来を考える上でも、低学年の学生の参加が望まれる。

9月	一般常識模擬試験講座
10月	SPI2 模擬試験講座
11月	就職活動実践講座 「解る、書ける、受かる!!」 エントリーシート作成から採用まで -受かる学生と落ちる学生、何が違うのか-

薬学部自習室の開設

7月8日(月)よりグッディーズの建物を利用して、薬学部自習室を開設した。場所が学生食堂(メモリー)に隣接し、薬学実習棟や薬学部棟、第 2 講義棟にも近いことから利便性に優れるため、多くの学生たちが授業の前や終了後に勉強する姿が見られる。

中央棟の自習室同様、平日は 8 時から 23 時、土日祝祭日は 9 時から 21 時まで開放され、学生の自学自習の場となっている。



平成25年薬物乱用防止「ダメ。ゼッタイ。」福島普及運動郡山地区626街頭キャンペーン

6月26日(休)に、福島県中保健所、郡山地区薬物乱用防止指導員協議会が主催する街頭キャンペーンが、ザ・モール郡山で行われた。本学薬学部からは、指導員として宇佐見則行教授、ヤングボランティアとして薬学部 3 年生の菅野美樹さん、松本理沙さんの計 3 名が参加して啓発活動に協力した。

交通安全講習会

6月17日(月)、記念講堂において、学生の運転免許所有者又は取得見込者及び教職員を対象とした交通安全講習会が郡山北警察署交通課第一係長である明村英治氏を迎えて開催された。今年度は、郡山市内のどこで事故が起きたかが分かるハザードマップが全員に配付された。また今回は、交通安全の啓発ビデオ上映後に明村係長の話があったことで、より説得力のある講習会となった。



第 45 回全日本歯科学生総合体育大会結果

柔道部

全日本歯科学生体育大会
墨田区体育館 8/3~4
<男子団体> 5位

競泳部

全日本歯科学生体育大会
福岡県立総合プール 8/2~4
男子 100M 平泳ぎ 8位
男子 200M 平泳ぎ 6位

歯学部父兄会地域会

6月23日(日)、30日(日)、7月7日(日)にそれぞれ東京(38名)、福岡(21名)、大阪(23名)にて、歯学部父兄会地域会が開催された。

今年は、赤川学長より「国試の結果を向上させる実施計画」、大野歯学部長より「国家試験の結果から現在の取り組みおよび7時限目」について説明が行われた。

力強い新学長の宣言に保護者は真剣に傾聴し、期待の高まりのうちに会は終了した。



福岡



東京



大阪

第29回歯学部教員研修講演会

7月26日(金)17時40分より、松本歯科大学歯科放射線学講座、田口明教授を講師にお迎えし、「予防医学への推進 -骨粗鬆症スクリーニングと現実-」という演題で教員研修講演会を開催した。

講演は2部構成で、前半では田口先生が長年手掛けてこられた「パノラマエックス線写真による骨粗鬆症スクリーニング法」について、研究の背景、スクリーニング法の開発過程ならびに現状と今後の展望について、わかりやすいスライドと軽妙洒落な話し方で解説された。

後半では松本歯科大学における学生教育について、歯科放射線学の場合を例にとり学生のモチベーション向上と教員の教育力向上を主眼とした教育システム改革への取り組みについて、聴衆が思わず引き込まれるようなわかりやすく熱意あふれる解説をされた。活発な質疑応答がなされ、有意義な講演会であった。

第30回歯学部教員研修講演会

8月2日(金)17時30分より、札幌学院大学人文学部の渡辺知樹教授を講師に招き、「教育には人情が必要だ-ライセンスを獲得するための教育は特別なのか?-」という演題で教員研修講演会を開催した。

小学校で教員をされていた経験などを基に、教育に必要なものは何かについて様々な具体例を挙げながら、紹介された。教師が子どもに好かれたければ、まず自分(教師)が自分を好きになることや、教師の必死さは目に表れることなど興味深い内容で、来場者は熱心に耳を傾けていた。

また、8月3日(土)9時からは歯科医学教育者ワークショップが開かれ、歯学部の教員36名が参加した。6つのグループに分かれ、国家試験合格率を上げる方策について有意義な議論がまとめられた。



第55回奥羽大学歯学会

6月15日(土)に奥羽大学歯学会が附属病院棟5階臨床講義室で開催された。全11演題の発表とそれぞれに対する質疑応答が活発に行われた。評議員会・総会も同時に開催され、昨年度の活動報告と本年度の活動方針について各担当理事から説明があり、了承された。また、本年度の学会賞と優秀発表賞の受賞者に対する表彰も行われた。

【学会賞】

佐藤直生助教

「歯肉上皮細胞における抗菌タンパク質産生機構に関する研究」

【優秀発表賞】

菅野勝也助手

「PGA系の分解吸収に伴う筋線維への影響」

小嶋忠之大学院生

「味覚障害がQOLに与える影響のショウジョウバエ味覚変異系統を用いた検討」



学会賞: 佐藤直生助教



優秀発表賞: 菅野勝也助手(左)、小嶋忠之大学院生(右)

第28回東日本歯科麻酔学会

6月22日(土)に第28回東日本歯科麻酔学会がホテルプリード郡山で開催された。本学歯科麻酔学分野の川合宏仁准教授が大会長を務めた。午前中に幹事会と総会を行い、午後から一般演題9演題が発表された。いずれも東北地方を中心とした大学または地域病院における歯科麻酔の演題であり、約60名の参加者による活発な討議がなされた。15時40分から「奥羽大学歯学部附属病院における歯科麻酔科の役割」と題したシンポジウムが4名の演者で行われた。奥羽大学における歯科麻酔科の活躍が小児歯科、障害者、インプラントなどの各分野の歯科医師から報告され、活発な全体討論が行われた。18時から、ウイングガーデンロイヤル郡山で懇親会が盛況に行われた。



日本顎顔面補綴学会

6月20日(木)~22日(土)の3日間にわたり、郡山市民交流プラザ大会議室において、約260名の参加者のもと、一般社団法人日本顎顔面補綴学会第30回総会・学術大会が開催された。一般演題38題のほか、本学高田訓教授による特別講演、シンポジウム、教育研修会、さらには顎顔面補綴に関連する基礎的、臨床的な発表があり、活発な意見交換が行われた。



歯の喪失とアルツハイマー病の関係をモデル動物で赤川学長が初めて解明

これまで歯の喪失がアルツハイマー病のリスクを高めることは疫学調査から知られてきたが、そのメカニズムは不明であった。赤川学長たちの研究班（広島大学、奥羽大学、名古屋市立大学）は臼歯の喪失（臼歯の咬合の喪失）がアルツハイマー病を悪化させることを、アルツハイマー病モデルマウスを用いて、世界で初めて学習・機能面と神経病理学側面から証明した。

アルツハイマー病モデルマウス21匹を用いて、6ヶ月齢の時点で『上顎両側臼歯を抜歯して、咬合を喪失させた群』（11匹）と『抜歯しないで、咬合を維持した対照群』（10匹）の2群に分けて比較した。抜歯直前（6ヶ月齢）と抜歯から4カ月後（10ヶ月齢）の2時点で、学習・記憶能力を評価する「ステップスルー型受動的回避試験」を行い、10ヶ月齢ではさらにマウスの脳組織を取り出して記憶に重要な役割を持つ海馬領域のアミロイドβ（Aβ）蛋白の沈着や海馬錐体細胞の変化を神経病理学的に観察した。

観察期間中に4匹のマウスが死亡したため、2観察時点での実際の研究対象は臼歯喪失群10匹、対照群7匹となった。6ヶ月齢と10ヶ月齢の各時点での両群間の体重および血糖値には有意差はなかった。10ヶ月齢の時点で行ったステップスルー型受動的回避試験の結果、臼歯喪失群は学習・記憶能力低下群6匹と学習・記憶能力維持群4匹に分けられ、一方で対照群は学習・記憶能力低下群0匹、学習・記憶能力維持群7

匹であったことから、臼歯喪失群は対照群に比較して学習・記憶能力が低下するマウスが有意に多くみられた。海馬領域のAβ沈着量を見ると臼歯喪失群と対照群の間に有意差はなかったが、錐体細胞数はCA1とCA3領域ともに臼歯喪失群は対照群に比較して有意に少なくなっており、一方、錐体細胞の面積には有意差はなかった。次いで、臼歯喪失群の中の学習・記憶能力低下群（6匹）と学習・記憶能力維持群（4匹）についてさらに検討したところ、Aβ沈着量に有意差はないものの、錐体細胞の面積はCA1とCA3領域ともに学習・記憶能力低下群が有意に小さくなっていった。これらの結果から、「臼歯の喪失」は脳内のAβの分子病態には影響を及ぼさない一方で、海馬CA1およびCA3領域における錐体細胞の数と同細胞の面積の減少により、学習・記憶能力の低下が引き起こされることがわかった。

これらの結果から、臼歯の喪失を防ぐことでアルツハイマー病の進行を抑制できることが期待される。この進行抑制のメカニズムは、Aβ沈着がもとになってアルツハイマー病を発症するとするアミロイドカスケード説とは異なることが示唆されることから、今後も広島大学、名古屋市立大学と共同で研究を続けたいと考えている。

本研究は英科学誌Behavioural Brain Researchに6月20日に掲載されました。（文責 赤川安正）

大学院特別研修セミナー

大学院では教員研修の一環として、毎年、外部講師による特別研修セミナーを開催している。今年度は、7月12日（金）に東北大学の大隅典子教授による「はばたけ女性研究者-リケジョの百年から未来を考える-」、8月5日（月）にUCLAの西村一郎教授による「顔面移植から学ぶこと: Neuro Engineering」を開催した。両セミナーとも講師を交えて活発な意見交換が行われ、教員の教育能力を高めるのに役立つ研修会であった。



西村一郎教授（左）に清野和夫研究科長（右）から感謝状が贈られる

附属病院

自衛消防訓練

6月4日（火）に附属病院で90名が参加して自衛消防訓練が行われた。新入教職員をはじめ、附属病院内で業務をされている協立医療、カンノ美装等協力会社からの参加も得て、5階から救助袋を利用しての避難、屋内消火栓を使った放水による消火の訓練、消防設備の取扱い講習などを実施した。万一来場参加者は真剣な表情であった。



救助袋を利用した避難

BLS/AED講習会

附属病院では、万が一の緊急事態に対処できるように、毎年、院内BLS/AED講習会を行っている。本年も最新のガイドラインに則り開催した。講習日は、6月は3日、10日、24日の月曜日とし、主に本学の研修歯科医を対象として行った。7月は1日、8日、22日の月曜日とし、主に本学職員を対象として行った。講習場所は臨床講義室、時間は17時30分～18時30分とした。研修歯科医44名、薬学部教員3名、事務職員10名、その他4名の合計61名を対象に行った。受講者2名に対して、本学のAHA-BLSプロバイダー所有者のインストラクター1名が輪番制で担当し、密度の濃い講習がなされた。



臨床教育セミナー特別講演会

臨床教育セミナーの特別講演会が2回にわたり学内で開催された。

6月13日（木）は、歯学部6期卒でいわき市内に開業されている新妻明先生を講師にお迎えし、「25年間の開業医生活」と題して、歯科医師のキャリア形成に関する興味深い経験を講演いただいた。

また6月27日（木）には赤川学長より、「先進医療について」と題して、先進医療の概要、歯科領域における先進医療技術等について詳しい解説をいただいた。

両講演会とも多くの関係者が参加し、大変盛況であった。



協力型臨床研修施設への研修歯科医派遣

地域医療短期研修プログラムならびに地域医療長期研修プログラムを選択した研修歯科医は、全国各地の協力型臨床研修施設でそれぞれ4ヶ月と8ヶ月間の研修を行う。

地域医療短期研修プログラム第1班の派遣期間は7月1日（月）から10月26日（土）まで、1名が8月8日（木）から12月6日（金）まで、地域医療長期研修プログラム4名の派遣期間は7月1日（月）から2月22日（土）までである。



学校法人晴川学舎 平成24年度決算報告

1. 資金収支計算書

(単位:円)

Table with 4 columns: 科目, 予算, 決算, 差異. Rows include 収入の部 (学生生徒等納付金収入, 補助金収入, etc.) and 支出の部 (人件費支出, 教育研究経費支出, etc.).

2. 消費収支計算書

(単位:円)

Table with 4 columns: 科目, 予算, 決算, 差異. Rows include 収入の部 (学生生徒等納付金, 補助金, etc.) and 支出の部 (人件費, 教育研究経費, etc.).

3. 貸借対照表

(単位:円)

Table with 4 columns: 科目, 本年度末, 前年度末, 増減. Rows include 資産の部 (固定資産, 流動資産) and 負債の部 (固定負債, 流動負債).

学校法人会計の特徴

1. 学校法人会計基準について

国または都道府県から経常費補助金の交付を受ける学校法人は、私立学校振興助成法の定めにより「学校法人会計基準」に従い、会計処理を行い、計算書類を作成し、所轄庁の指定する事項に関する公認会計士または監査法人の監査報告書を添付し、所轄庁に届け出ることが義務づけられています。

2. 学校会計の原則

学校法人は、「学校法人会計基準」第2条の4つの原則（① 真实性の原則、② 複式簿記の原則、③ 明瞭性の原則、④ 継続性の原則）に従って、会計処理を行い、計算書類を作成しなければなりません。

3. 計算書類について

○資金収支計算書

学校法人の、その年度の教育研究活動やこれに附随する活動に対応する、すべての収入と支出の内容を明らかにし、また現金預金の1年間（4月1日～3月31日）の動きを表します。企業会計のキャッシュフロー計算書に相当します。

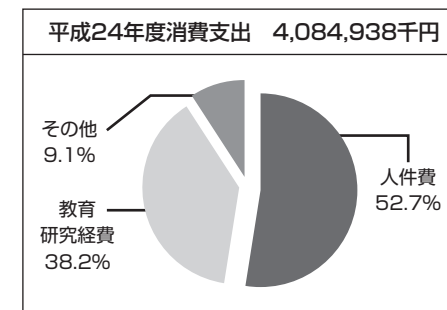
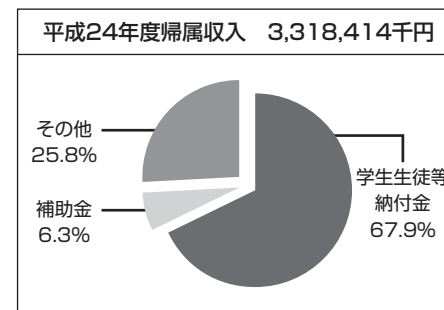
○消費収支計算書

学校法人の1年間（4月1日～3月31日）の収支状況を表す計算書類です。帰属収入と消費支出の内容を明らかにし、また消費支出が消費収入で賄われているかを表します。企業会計の損益計算書に相当します。

○貸借対照表

年度末における学校法人の資産、負債の内容、純資産（資産-負債）の額を明らかにします。また、基本金（維持すべき金額）に対する純資産の過不足状態を消費収支差額として表します。

- ・帰属収入・・・学生生徒等納付金、補助金などの学校法人の負債とならない収入
・消費収入・・・帰属収入-基本金に組み入れる額（平成24年度の基本金組入額は0円）
・消費支出・・・人件費、教育研究経費、管理経費などの支出
・基本金・・・学校法人が教育研究活動を永続的に進めていくためには校地、校舎、機器・備品、図書などの資産が必要不可欠であり、学校法人が存続する限り継続的に保持しなければなりません。その保持すべき必要不可欠な資産を概念的に表したものが基本金です。



第22回奥羽大学公開講座

今年度の公開講座は、9月14日から10月5日にかけての毎土曜日、総合テーマ「奥羽大学発 健康宣言 2013」のもと下記の8講座を開講します。時間は、各日とも、間に休憩を挟んで9時30分～11時45分です。

総合テーマ:奥羽大学発 健康宣言 2013

開催日	学部	講師名	講座名
9月14日(土)	歯学部	川島 功 教授	口や身体の中で使う代替材料ってどんなものがあるの?
		川合宏仁 准教授	その日に帰れる歯科治療のための全身麻酔
9月21日(土)	薬学部	高橋則男 教授	ジェネリック医薬品ってなに? —その安全性と経済性について—
		真島 崇 講師	薬の正しい飲み方、一緒に考えませんか?
9月28日(土)	薬学部	山下俊之 教授	ミクロの敵を見分けて身体を守る免疫の仕組み
		山岸丈洋 准教授	クスリと有機化学について
10月 5日(土)	歯学部	古山 昭 助教	カエルの痛みとヒトの痛み、どこまで同じか —カエルを使った痛覚研究最前線—
		山森徹雄 教授	歯科インプラント治療を上手に受けるために

第21回奥羽祭のお知らせ

奥羽祭テーマ「百花斉放」

一人一人の個性という花が咲き誇るような奥羽大学大学祭

10月19日(土)		10月20日(日)	
11:00～13:30	万歩計ゲーム 万歩計を体につけて30秒以内に どれだけカウントを稼げるか! 早さに自身の挑戦者求む!	11:00～14:00	縁日(射的、水風船)
11:30～13:00	うまい店コンテスト 数ある模擬店の中で一番 おいしいのはどこなの!?	11:00～14:30	宝探しゲーム
13:30～14:30	玉木宏トークショー	11:30～12:30	○×ゲーム シンプルだけど面白い! あなたの知識を試してみませんか?
15:30～16:30	絵心コンテスト ランダムで選ばれるお題! 誰が一番うまく描けるか!?	13:00～14:00	万歩計ゲーム+
		15:00～16:30	ビンゴ大会

図書館企画展示

7月18日(木)から8月31日(土)まで、「『奥の細道』と郡山一本と写真展」を図書館1階閲覧室において開催した。元禄2年(1689年)に松尾芭蕉が門弟の河合曾良と郡山に滞在したという『奥の細道』と『随行日記』をもとに、郡山の現在の風景写真約70点と本学所蔵の芭蕉関係専門図書約100点を展示した。初の試みとして8月19日(月)から24日(土)までの6日間を一般公開としたが、新聞掲載の効果もあり、俳句や郡山地方史に関心のある約60名の来館者があった。



人事

〈採用〉
鈴木由美子 附属病院 准看護師 8月1日付

〈退職〉
門倉弘志 歯科保存学 講師 7月31日付
新田奈津美 学事部(薬) 事務職員 8月31日付
柳田孝治 附属病院 事務職員 8月31日付

同窓会だより

宮城県支部
歯学部11期生

古田 裕二

皆様こんにちは。今年度より歯学部宮城県同窓会会長に就任いたしました11期の古田です。今後ともよろしくお願いたします。学生時代は6年間ハンドボール部に所属しており、毎日のように体育館で汗を流していました。本部総会などで郡山を訪れた際は体育館に立ち寄り、楽しかった学生時代を懐かしく想い出しています。

歯学部宮城県同窓会は創立から34年を数え、現在1期生から36期生まで171名の会員がおります。同窓会の活動としましては、年2回総会時と忘年会時に学術講演会を主に母校より講師をお迎えし開催、そのほか勤務医研修会、臨床勉強会、社保講習会を必要に応じて開催しています。また年1回会報を発行していますが、毎月の理事会の内容や求人求職情報、社保ニュースなどを支部ニュースという形で月1回会員にメール等で配信してタイムリーな情報を届けるようにしています。厚生事業としては納涼会、ゴルフコンペ、日帰りスキーなどを行い会員や会員の家族間の懇親にも役立てています。当同窓会は「会員相互の協調と擁護の精神に則った会務運営」を常々心がけており、平成22年には東北大学や多くの会員の協力を得て休業時の代診派遣システムを開始しました。これは病気などで長期にわたり診療所を休診にしなければならない場合に、登録医から代診を派遣するシステムで、一人で診療を行っている多くの会員の助けとなっています。

現在、理事として若い期の先生方にも同窓会活動に積極的に関わっていただいていますので、宮城に就職を希望される先生や研修で来られる先生そして薬学部の卒業生の方も同窓会に気軽に声をかけてください。笑顔でお迎えます!

最後になりましたが、震災後にご支援いただいた皆様にこの場をお借りしてあらためて御礼申し上げます。

同窓生のひろば



歯学部5期生

牧野 義臣

昭和57年に本学を卒業し、地元札幌に戻り30年が過ぎました。大学生活6年間は当時長く感じていましたが、その5倍の時間はあっという間に過ぎ去ってしまった気がします。5年前に大学創立30周年に合わせて郡山で初めて同期会(5期会)が開催されたのですが、同郷以外の同期の外見の変貌ぶりに時間の早さを否応もなく感じたのは自分だけではなかったでしょう。外見はさて置き、学生時代の思い出話に花が咲くと、皆昔と変わらず同期の絆に気付かされた日でもありました。2年前まで本学同窓会評議員として年に一度郡山に足を運んでおりましたが、校舎に残る震災の爪痕を垣間見て、その被害の大きさに驚愕したのを思い出します。未だに傷心のなかにお過ごしの方が大勢おられると思いますが、一日も早い復興を願いつつ、謹んでお見舞い申し上げます。

北海道同窓会は現在145名の会員を擁し、数では中堅の同窓会として道内17郡市区様々な地域で皆活躍しております。残念ながら北海道医療大学(旧東日本学園)の創立以来、新入会員が極端に減っているのも事実で、地元以外の新設校同窓会はほぼ会務の縮小をせざるを得ない状況下にある事は確かです。そのなか、初代会長である1期生の角田先生および2期生の故板倉先生が日歯代議員を歴任し、1期生の川原先生は北海道歯科医師国保組合副理事長を長きにわたり務め上げ、北海道における本同窓会の基盤が築かれてきました。数多くの先輩達の努力により現在は3期生の青木会長が北海道歯科医師会常務監事、私は道歯社担保理事の任命を受け歴史に汚点を残さぬよう微力ながら同窓会に支えられ頑張っているところです。

さて私事ですが、前期より社担保理事となり指導の立会、審査、郡市区保険講習会講師等で診療所は火の車ですが、北海道は広大な土地のため一度も足を踏み入れた事がない地域に行き、その地域の色々な先生方と膝を突き合わせ懇親を深める機会を与えてもらった事は非常に有意義に感じています。もう直ぐ還暦を迎えるなか体力勝負と最近ではススキノで飲む時間を割きジム通いを始めました。所詮髪が毛が増える訳でもなく、いつまで続くか自信がありませんが...

最後になりますが、皆様の一層のご健康、益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。